

On-Lap 1306H ユーザーガイド



目次

ご使用上の注意事項と警告および製品保証について	—1
液晶ディスプレイの使用と画素について	—11
WEEE マークについて	—11
第一章 内容物の解説	—1
その 1. モニター本体の解説	—1
その 2. 付属品の解説	—2
第二章 インストールガイド	—2
その 1. モニターと保護カバースタンドの使用説明	—2
その 2. Apple® MacBook Pro/Air に接続、または他の USB Type-C(DP Alt)モードをサポートするコンピュータデバイス	—4
その 3. スマートフォンと接続する(USB type-C(DP Alt)モードをサポート)	—4
その 4. HDMI 出力に対応したコンピュータやゲーム機 などの機器に接続する	—5
その 5. イヤホンやスピーカーと接続する	—6
第三章 ホットキー、LED、OSD 表示について	—6
その 1. ホットキー、LED、OSD 表示について	—6
その 2. OSD の解説	—7
第四章 モニター拡張モードの設定	—9
その 1. 拡張モードの設定- Windows 10	—9
その 2. 拡張モードの設定- Mac (OS X)	—9
第五章 製品仕様	—9
その 1. 一般仕様	—9
その 2. 対応表示モード	—10
その 3. 対応映像モード	—11
第六章 トラブルシューティング	—11

ご使用上の注意事項と警告および製品保証について

- ⚠ この表示に従わなかった場合、けがをする恐れや製品に物理的な破損が生じる可能性がありますことを示します。
- ⚠ 1.外出時には、必ずモニターに保護カバーを装着してパネル面を内側にして携帯してください。モニターが押されたり鋭利な物に接触しないようご注意ください。
- ⚠ 2.HTC®スマートフォン (U11、U12 など) をモニターに接続している時、スマホのメディア音量は自動的に最大に調整されます。音量が大きすぎると、使用者の聴力に影響する恐れがあります。あらかじめ画面の音量を最小にし、それでも音量が大きすぎる場合は、聴覚障害を防ぐためイヤホンを使用しないでください。
- ⚠ 3. USB または映像入出力ケーブルを挿入する前に、挿入方向が正しいかどうか確認してください。コネクタを抜く際は必ず USB ポートまたは映像入力ポートの方向に平行に引き抜いてください。強い力でコネクタを揺らさないようにしてください。反対方向(上下逆向き)に挿入したり、その他適切でない取扱いによって USB ポートや映像入力ポートが破損した場合、保証期間中であっても無償修理サービスは適用されません。
- ⚠ 4. On-Lap モニターの電源入力規格は 5V 2A DC 電流です。5V 以上の電流を流すとモニターの故障を引き起こすおそれがあります。この故障は保証対象外となりますのでご了承ください。PC の USB ポート x2 か当社製 5V 2A AC アダプタに接続して電源供給することをお勧めいたします。
- ⚠ 5. On-Lap モニターや付属の保護カバーにはマグネットがついています。PC のハードディスクやその他磁気の影響を受けて破損するおそれのある物品に近づけないでください。PC が起動中またはスリープ状態にあるときは、保護カバーのマグネット部分には近づけないでください。
- ⚠ 6. モニターのお手入れ時の注意事項:お手入れ前には、電源を抜き、やわらかい布でモニターをやさしく拭きます。落とすにくい汚れがある場合は、固く絞った布で拭き取ります。ベンゼン、アルコール、シンナー、アンモニア、研磨剤を含む洗剤またはその他腐食性のある洗剤や高圧洗浄機を使用しないでください。これらの使用により修理不可能な損害を受けたり、表面に落ちない痕が残る可能性があります。
- ⚠ 7. 製品が倒れたり、床に落ちることで重大な損傷につながる可能性がありますので、揺れるなど不安定な机、棚またはカートの上に置かないでください。また、動いている車内での使用や持続的に振動している場所への設置も避けてください。
- ⚠ 8. 耐水性ではありません。水に近い場所で使用しないようにしてください。
- ⚠ 9. 本体ケースは分解しないでください。
- ⚠ 10. オーディオの音量を上げ過ぎると、健康を損なう恐れがあります。オーディオジャックを使用するまえにボリューム設定が適切か確認してください。
- ⚠ 11. 使いすぎると視力の低下につながるおそれがあります。30 分使用した後は 10 分間の休憩を取ることをお勧めします。2 歳未満の幼児にはモニターを見せないでください。2 歳以上の場合、一日のモニター使用が 1 時間を超えないようにします。

II

12.製品保証についての説明

取り扱い説明書をよくお読みいただき、説明書の操作と注意事項をしっかりと守ってください。この説明書は大切に保管してください。

当社は、本製品にフリーズやエラーが発生しないことを保証しません。保証サービスは、保証期間内および本製品の正常な使用状況下において発生した故障のみの対応となります。次の原因により故障が発生した場合、保証サービスは対応できませんのでご了承ください。

- (1)製品のバーコードが読み取れない場合。
- (2)製品に改造、分解、変更がされていた場合。
- (3)モニター表示とタッチパネルが正常でも外観に異常がある場合。自然劣化、摩耗、擦り傷、色の変化など。
- (4)入力電圧が 5V より高い、または電圧が不安定だったなど、外付け電源の問題により故障が起きた場合。
- (5)ケーブルを間違った方向に挿入または引き抜いたことでケーブルやモニターが損傷するなど、使用マニュアルにしたがって操作せずに損傷が生じた場合。
- (6)ユーザーの故意、過失に係わらず、モニターに接触またはぶつかってモニターが倒れたり落ちたりして損傷が生じた場合。

液晶ディスプレイの使用と画素について

モニター上に異なるパターンの画面が表示される場合、画面の明るさがわずかに不均等になることがあります。液晶ディスプレイの有効画素数は 99.99%以上ですが、表示の際に 0.01%またはそれ以下の画素が表示できないことがあります。当製品には高品質液晶パネルを採用していますので、暗くなったり黒点や赤点が表示されることがありますが、製品の通常の使用には影響はありません。

モニターの破損につながる場合がありますので、液晶モニターは長時間直射日光に当たらないようにしてください。

長時間同じ静止画面を表示すると、モニターに残像が残ることがありますが、数時間電源を切ることで元に戻ります。

WEEE マークについて

当製品は適切な回収場所に委託してリサイクルを行い、家庭ごみと一緒にしないでください。

製品や付属品、説明書にこのマークがある場合、当該製品およびその他電子部品（例：充電器、Rear Dock ケーブル）は家庭ごみと一緒に処分できません。廃棄したい製品と付属品を指定の回収場所へ責任を持って委託し、廃棄電子機器資源をリサイクルしてください。

設備の処理または廃棄に関するリサイクル情報については、お近くの代理店、一般廃棄物処理センター、またはご購入いただいた店舗までお問い合わせください。



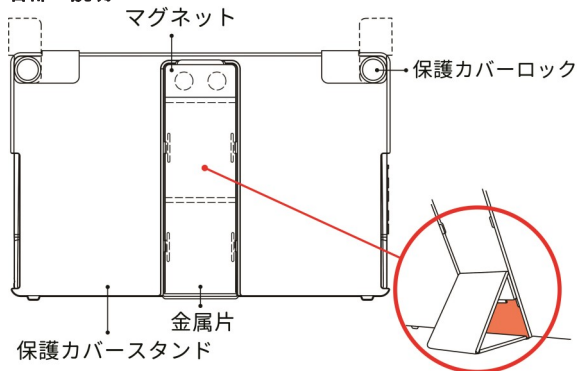
EU 以外のリサイクル処理

EU 以外の場所で本製品やその付属品を処分される場合は、現地政府所定の法規と廃品回収の規範にしたがってください。

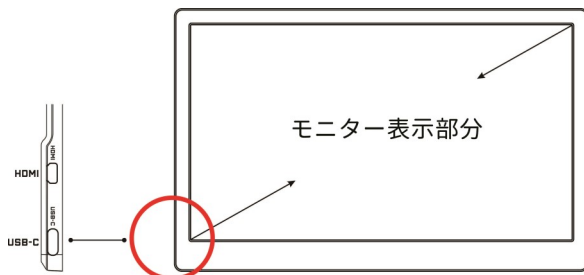
この装置は、**クラス B 機器**です。この装置は、**住宅環境**で使用することを目的としていますが、この装置が**ラジオやテレビジョン受信機**に近接して使用されると、**受信障害**を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

第一章 内容物の解説

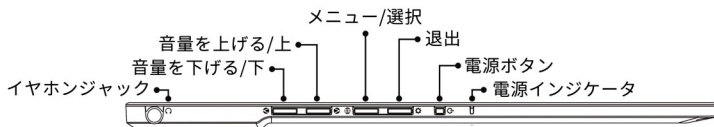
その 1. 各部の説明



図： On-Lap 1306H 保護カバー部位説明




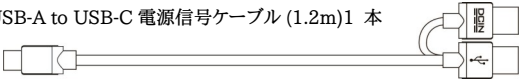

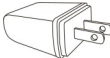
図： On-Lap 1306H 接続説明



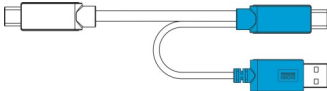
図： On-Lap 1306H ボタンと LED ランプ説明

その 2. 付属品の説明

1. 標準付属品

HDMI-A to Micro-HDMI ビデオケーブル(1.2m) 1 本	
USB-A to USB-C 電源信号ケーブル (1.2m)1 本	
USB Type-C ビデオケーブル(1.0m) 1 本	
AC アダプター(5V,Max.2A) 1 個	

2. 別売付属品

付属品名称	説明
USB Type-C ビデオと独立電源 Y ケーブル(0.5m)	このケーブルでスマートフォンと On-Lap1306H を使用し、次のステップで接続します。①黒い USB-C プラグをスマートフォンに接続します。②青い USB-C プラグを On-Lap1306H に接続します。③青い USB-A プラグをモバイルバッテリーに接続し、1306H に電力が供給されます。
	
HDMI-A to Micro-HDMI ビデオケーブル (2.1m)	HDMI-A オスコネクタを PC の HDMI ポートに接続し、もう一方の micro-HDMI オスコネクタを On-Lap1306H に接続します。
Micro-HDMI to Micro-HDMI ビデオケーブル(1.2m)	micro-HDMI オスコネクタをカメラの micro-HDMI ポートに接続し、もう一方の micro-HDMI オスコネクタを On-Lap1306 に接続します。
Mini-HDMI to Micro-HDMI ビデオケーブル (2.1m)	mini-HDMI オスコネクタをカメラの mini-HDMI ポートに接続し、もう一方の micro-HDMI オスコネクタを On-Lap1306 に接続します。
USB-A to USB-C 電源&タッチ出力ケーブル(2.1m)	USB-A オスコネクタを AC アダプタまたは PC の USB ポートに接続し、もう一方の USB-C オスコネクタを On-Lap1306 に接続します。

第二章 インストールガイド

その 1. モニターと保護カバースタンドの使用説明

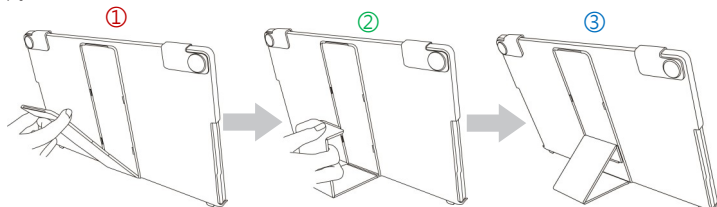
1. スタンドの使用法

図のように、①上部からフレームのマグネットをはずします。②マグネットボタンのラバー側を内側に折ります。③ラバー側をメンタルプレートに取り付けます。

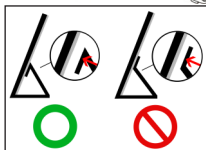
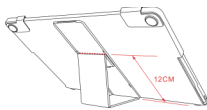


説明ビデオ

マグネットボタンが金属片に吸着する位置に調整すると、モニターを表示角度を変更できます。

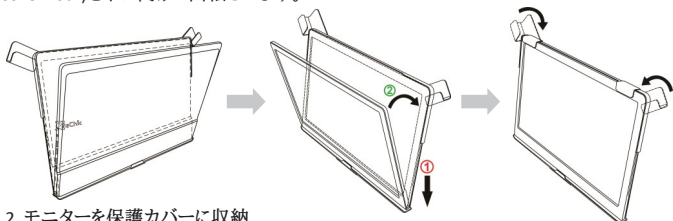


⚠ 横置き表示の最低角度は 40° です。マグネットボタンのラバー面の最大吸着位置は金属片の底面から 12cm です。それよりも高いところにおくと倒れることがあります。



2. モニターの取り出しと設置

図のように、保護カバーロック(Cover Lock)を回し開けてモニターを取り出し、モニター背面部を保護カバーの方向に向けます。ボタンを上に向けて①モニター下部を先に保護カバーに入れてから、②モニター上部を保護カバーの上部の切り込み口に入れ、保護カバーロック(Cover Lock)を下に向けて回転させます。



2. モニターを保護カバーに収納

モニターを使用しないときは、モニター背面を外側に向けて保護カバーに収納するようにします。保護カバーロックを下に回ると、モニター携行時に落下や衝撃による液晶の破損を予防することができます。

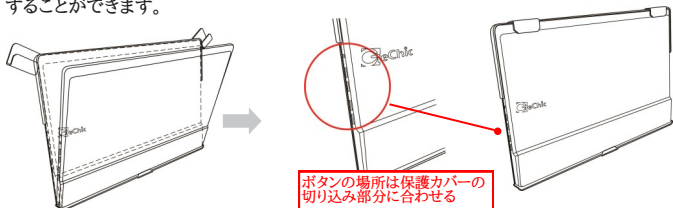


図: モニターを保護カバー内に入れる

注意: モニター背面の厚みのある側が下になるようにカバーに収納してください。モニターの上下を逆にして保護カバーに入れると、画面がこすれるもとになったり、保護カバーロック (Cover Lock) をかけることができなくなります。

その 2. Apple® MacBook Pro/Air に接続、または他の USB Type-C(DP Alt) モードをサポートするコンピュータデバイス

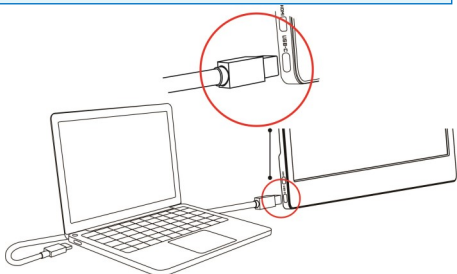
※ 注意 1 : On-Lap 1306H モニターに接続するには、コンピュータやスマートフォン等の USB Type-C ポートが以下の 2 つの条件を満たす必要があります。

▲ USB Type-C ポートは DisplayPort Alternate Mode モード (USB Type-C(DP Alt)) をサポートしている。

▲ USB Type-C ポートは On-Lap 1306H モニターに 5V 1.5A 電流を出力できる。

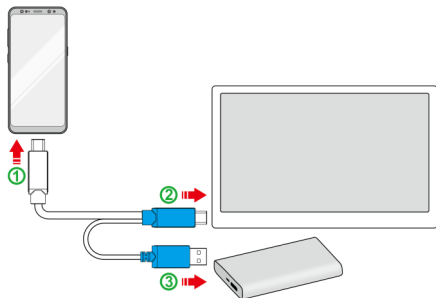
※ 注意 2 : タブレット PC またはスマートフォン等の製品は、On-Lap 1306H モニターに **1.5A の電流** を安定して出力できない場合があります。出力電流が低すぎると、On-Lap 1306H モニターが起動しない、または画面がチラつく事がありますので、**USB Type-C ビデオと独立電源 Y ケーブル(0.5m)** を購入してスマートフォンと接続し、モバイルバッテリーで On-Lap 1306H 電流を供給してください。

図のように、「DisplayPort Alternate Mode モード」をサポートするコンピュータの USB Type-C ポートに、USB Type-C ビデオケーブル(1.0m) を接続してください。コンピュータは USB Type-C を通じて電流とビデオ信号を出力します。モニターへの接続に充電器と HDMI ケーブルを使用する必要はありません。



その 3. スマートフォンと接続する (USB type-C(DP Alt)モードをサポート)

図のように、USB Type-C ビデオと独立電源 Y ケーブル (別売) を使用し、下のステップに従ってスマートフォンとモバイルバッテリーを接続してください。



① まず**黒い USB-C** プラグをスマートフォンの USB-C ポートに挿入します。

② **青い USB-C** プラグを On-Lap1306H の USB-C ポートに挿入します。

③ 最後に**青い USB-A** プラグをモバイルバッテリーに接続し、電源入力を起動します。

注意:ステップ③で電流を On-Lap1306H に伝送する必要があります。ステップ 1 または ②で先に On-Lap1306H に電流が供給されている場合、モニターは立ち上がっていても携帯がモニターとのメッセージを直ちに交換できない可能性があり、これにより DP Alt モードのビデオ接続が失敗を発生してしまいます。

その 4. HDMI 出力に対応したコンピュータやゲーム機などの機器に接続する

1. ノートパソコン、またはコンピュータに接続

下図のように、HDMI-A to Micro-HDMI ビデオケーブル(1.2m)を使用してコンピュータの HDMI-A ポートに接続し、USB-A to USB-C 電源ケーブル(1.2m)を使用してコンピュータの USB-A ポートまたは 5V-2A 充電器に接続します。

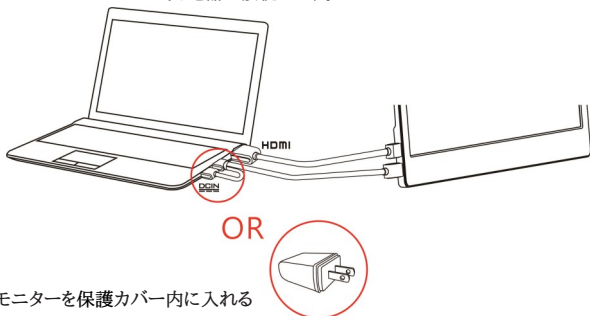
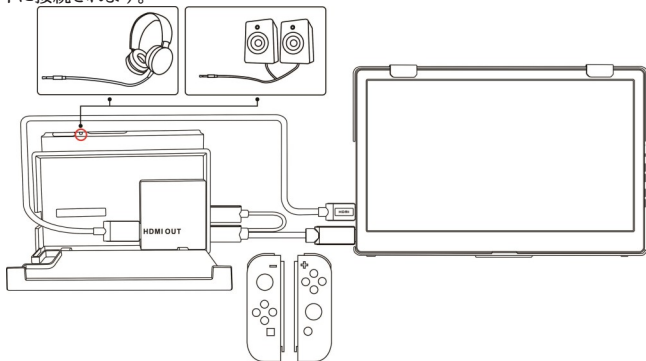


図: モニターを保護カバー内に入れる

2. Nintendo® Switch に接続

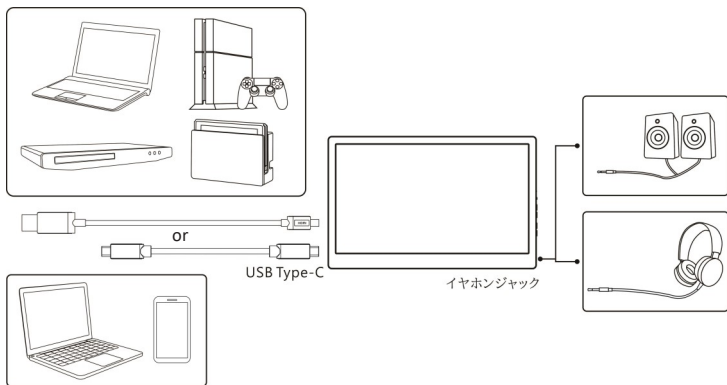
下図のように、1306H モバイル電源を起動するには、USB-A to USB-C 電源ケーブル(1.2m)の 2 つの USB-A コネクタを Switch ドック側面の USB-A ポートに挿入し、USB-C コネクタを 1306H モニターに接続すると、モニターはドックから電源を供給され、HDMI-A to Micro-HDMI ビデオケーブル (1.2m)で SWITCH ドックの HDMI-A ポートと 1306H の Micro HDMI ポートに接続されます。



その 5. イヤホンやスピーカーと接続する

下図のように、ヘッドフォンまたは外部スピーカをモニターのイヤホンジャック (Headphone out port) に接続し、もう一方の端をコンピュータ、ゲーム機、またはその他の製品の HDMI-A ポートに接続します。または、コンピュータの「DisplayPort Alternate Mode モード」に対応する USB Type-C ポートを接続してください。

※注意:イヤホンジャック(Headphone out port) は 2 チャンネル音声出力に対応しています。マイクの音声入力(Audio in)は挿入しないでください。コンピュータまたはゲーム機のサウンドフォーマットが 5 または 7 チャンネルの場合、ヘッドフォンからすべての音が出力されることがあります(例えば、ゲーム中ボーカルが消える)。コンピュータまたはゲーム機の音声設定を 2 チャンネル音声出力に選択してください。



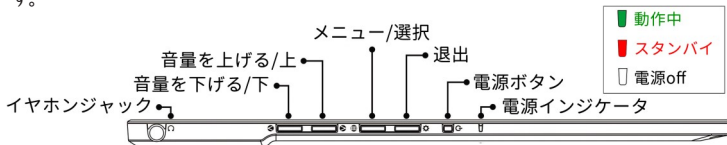
第三章 ホットキー、LED、OSD 表示について

その 1. ホットキー、LED 表示について










2 つのショートカットキーを同時に押さないでください。キーが反応しなかったり、反応が悪くなったりすることがあります。

LED ライトについて:

On-Lap の動作中には緑に点灯し、スタンバイは赤く点灯し、電源 OFF のときライトは消灯します。



ホットキーの説明:

	電源ボタン	電源ボタン: モニターの On/Off に使用します。
	退出	OSD メニューの操作時にこのボタンで一つ前のページに戻ることができます。
	メニュー/選択	このボタンで OSD メニューを呼び出すことができます。
	音量を上げる/ 上	OSD メニューが表示されていないときはこのボタンでスピーカのボリュームを上げることができます。押し続けることで連続的にボリューム操作ができます。OSD メニューが表示されているときはカーソルを上/左移動するために使用します。
	音量を下げる/ 下	OSD メニューが表示されていないときはこのボタンでスピーカのボリュームを下げるができます。押し続けることで連続的にボリューム操作ができます。OSD メニューが表示されているときはカーソルを下/右移動するために使用します。
	リセット	「音量を下げる/下」ボタンと「終了」ボタンを同時に押すと、モニターの各設定を工場出荷時の設定値に戻すことができます。
	ミュート	「音量を上げる/上」ボタンと「音量を下げる/下」ボタンを同時に押すと、ミュートモードになり、もう一度押すと、ミュートモードを解除できます。
	電源ボタンロック中	「メニュー」と「音量を下げる/下」ボタンを同時に押すと、電源ボタンをロックすることができます。これら 2 つのボタンをもう一度押すと、電源ボタンのロックが解除されます。
	メニューロック	「メニュー」と「音量を上げる/上」ボタンを同時に押すと、OSD ボタンをロックすることができます。これら 2 つのボタンをもう一度押すと、OSD ボタンのロックが解除されます。

その 2. OSD の解説

On-Lap モニターの最初の起動時、右上に「Language Select (言語選択)」メニューが表示されます。「メニュー/選択」ボタンを押して使用言語を選択してください。次の起動時「Language Select」項目は表示されません。選択せずに「終了」ボタンを押して「Language Select」メニューを消すこともできますが、次回起動時こまた表示されます。

1. ボタンによる基本的操作の説明

ボタンを押すと、OSD メニューが表示されます。音量を上げる/下を押して、メニュー内容の表示を上下に移動させます。調整機能を作動させたい場合は「メニュー/選択」ボタンを押します。選択した機能にサブメニューがある場合は「音量を上げる/下」ボタンを押すと表示されます。調整したい機能を選択するときは「メニュー/選択」ボタンを押します。音量を上げる/下を押して選択した機能の設定を変更します。終了するときは「終了」ボタンを押すと自動的に終了します。その他の機能を調整するときは上述のステップを繰り返して下さい。

2. 画面設定 (Display Settings)

図のように、「ディスプレイ設定」を開いた後、「輝度」、「コントラスト」と「シャープネス」が調整できます。

- 省電力モード (ECO Mode): 省電力モードを起動すると、明るさが最大 50 までに制限されます。
- 自動調整 (Auto Adjust): 「自動アスペクト比調整」「自動明るさ調整」を起動すると、モニターに連続して動画を再生する際に、自動でアスペクト比、明るさを調整し、鑑賞画質を向上させます。



3. 色設定 (Color Settings)

- 1) "色設定"を開いた後、"カラーモード"で、"標準"、"ゲーム"、"写真"と"映画"等 4 種のプリセットモードが選択できます。
- 2) ブルーライト軽減 (Blue Light Reduction): 「オン」を選択すると、ディスプレイのブルーライトが自動で軽減されます。
- 3) 色温度 (Color Temperature): 「寒色系」を選択すると、画面の青みが強くなり、「暖色系」を選択すると、画面の赤みが強くなります。「カスタム設定」を選択すると、手動で RGB 値を設定できます。

4. アスペクト比設定 (Aspect Ratio)

- 1) アスペクト比 (Aspect Ratio): 「16 : 9 フル画面」を選択すると、画面は 16 : 9 の比率でディスプレイ全体に表示されます。「4 : 3」を選択すると、画面は「4 : 3」の比率で表示され、ディスプレイの両端に黒い帯が表示されます。「オリジナル比率」を選択すると、画面にはオリジナルの縦横比で表示されます。
- 2) オーバースキャン (Overscan): HDMI Video 信号(たとえば 1080P/720P)を入力する時だけ、この機能を使用できます。この機能を使用すると、映像スキャン表示範囲を調整できます。

5. OSD メニュー (OSD Menu)

- 1) 言語: OSD メニュー表示言語を選択します。
- 2) 水平位置: OSD メニューを左右に移動させます。
- 3) 垂直位置: OSD メニューを上下に移動させます。
- 4) OSD 表示時間: OSD 表示時間を調整します。
- 5) OSD 透明度: OSD メニュー背景を透明化します。
- 6) 自動電源オフ (Auto Power Off): 「オン」を選択すると、映像信号が入力されていない場合、モニターは 15 分待機モードで動作しその後自動的に電源オフになります。「オフ」を選択すると、モニターは映像信号が入力されていない状態でも待機モードを維持します。
- 7) 電源インジケータ: 「オフ」を選択すると、電源ランプが点灯しなくなります。
- 8) 電源ボタンロック (Power Button Lock): 「オン」を選択すると、電源ボタンは機能しなくなります。

6. オーディオ: オーディオ出力のボリュームを設定します。0 にするとミュート(無音)になります。

7. 入力元 (Input Source):

- 1) 入力元 (Input Source): HDMI (信号は HDMI ポートから入力)や USB Type-C (信号は USB Type-C ポートから入力)を選択します。
- 2) Auto Search : 「オン」を選択すると、モニターが 2 つの映像信号の入力元を順番に検索し、一番早く検出した映像信号を表示します。「オフ」を選択すると、入力 (Input Source) で設定された映像信号のみを表示します。映像信号を検出されなければ、モニターに「信号なし」の警告メッセージが表示され、他の映像信号を検索しません。
- 3) CEC Mode: 「オン」を選択すると、モニターが HDMI CEC がある DVD プレーヤー・カム + A2:E2 ラ・PlayStation ゲーム機などに接続している場合、モニターはその機器の電源装置と連動できます。
8. インフォメーション (Information): 映像信号の周波数や、On-Lap の型番、ファームウェア番号等のインフォメーションを表示します。
リセット (Reset): 「はい」を選択すると、出荷時の設定に復元されます。



第四章 モニター拡張モードの設定

その 1. 拡張モードの設定(Windows10)

マークをクリック後、[設定]をクリックします。[システム]を選択後、[ディスプレイ]を選択します。[複数のディスプレイ]という項目から「表示画面を拡張する」を選択します。[解像度]で「1920x1080」を選択し、[向き]で「横」を選択します。「変更の維持」を選択し、設定を保存して終了します。



その 2. 拡張モード設定の Mac (OS X)







Apple【システム環境設定】を選択→【ディスプレイ】を選択→【配置】を選択し、「ディスプレイをミラーリング」のチェックボックスのチェックをはずすことで拡張モードとして使用できます。また、いずれかのモニターをドラッグすると、モニターの配置を自由に変更することができます。【ディスプレイ】を選択し、モニタの解像度を選択してから「ウィンドウを集める」をクリックすると、On-Lap 1306Hの解像度が「1080p」に設定されます。



第五章 製品仕様

その 1. 一般仕様

規格	On-Lap1306H
パネル	ワイドスクリーン 13.3" (16:9)
解像度	1920x1080
色数	1677 万色
輝度	300 (cd/m ²) (Typ.)
コントラスト比	800:1(Typ.)
視野角(標準値)	170°(H)/170°(V)(CR>10)
応答速度	12.5ms (Typ.)
ビデオ入力	HDMI*1, USB Type-C (DP 1.2)
オーディオ出力	イヤホンジャック(3.5mm mini jack) (support analog 2.5mm AUX)
HDCP サポート	はい
HDMI CEC サポート	はい

規格	On-Lap1306H
プラグ&ブレイ	VESA DDC2B/C1
消費電力	≤ 8W
消費電力- スタンバイ	<0.5W
消費電力- Off	<0.5W
定格電圧/電流	5V ■■■1.6A(Typ.)
環境温度	操作: 0~50°C ストレージ: -20~60°C
サイズ(W/H/T)	320mm*203mm*9mm (モニター) 325mm*214mm*15.4mm (モニターと保護カバー)
重量	670g (モニター) 935g (モニターと保護カバー)
認証	     

その 2. 対応表示モード

解像度	リフレッシュレート	水平周波数	垂直周波数
640x480	60Hz	31.469	59.940
720x480	60Hz	29.855	59.710
800x600	60Hz	37.879	60.317
848x480	60Hz	31.02	60.000
960x600	60Hz	37.212	59.635
1024x768	60Hz	48.363	60.004
1152x864	60Hz	53.783	59.959
1280x600	60Hz	37.377	59.900
1280x720	60Hz	45.000	60.000
1280x768	60Hz	47.776	59.870
1280x800	60Hz	49.702	59.810
1280x960	60Hz	60.000	60.000
1280x1024	60Hz	63.981	60.020
1360x768	60Hz	47.712	60.015
1366x768	60Hz	47.712	59.790
1360x1024	60Hz	63.606	59.836
1400x1050	60Hz	65.317	59.978
1440x900	60Hz	55.935	59.887
1600x900	60Hz	55.990	59.946
1600x1024	60Hz	63.675	59.901
1680x1050	60Hz	65.290	59.954
1920x1080	60Hz	67.500	60.000

その 3. 対応映像モード

対応映像モード	
1920x1080P (50Hz/59.94Hz/60Hz)	1280x720P (50Hz/59.94Hz/60Hz)
720x480P (59.94/60Hz)	640x480P (59.94/60Hz)

第六章 トラブルシューティング

症状	解決方法
1. On-Lap モニターを DVD プレーヤーやゲームコンソールに接続すると、BGM は再生されますが、人の声は再生されません。	ゲームコンソールや DVD プレーヤーはすべて 5.1ch サラウンドではなく、2ch ステレオをオンにしてください。
2. コンピュータ/携帯の USB Type-C ポートを接続しますが、モニターに画面が表示されません。	On-Lap1306H モニターに接続するためには、コンピュータやスマートフォン等の製品の USB Type-C ポートが、DisplayPort Alternate Mode モード(USB Type-C(DP Alt))に対応している必要があります。 デバイスが USB Type-C(DP Alt)モードに対応し、5V 1.5A の電流出力を提供できるかどうかを確認するには、コンピュータ/携帯製造メーカーに確認してください。
3. 携帯の USB Type-C ポート出力画面を On-Lap 1306H モニターに接続します。モニター画面がちらついたり、再起動することがあります。	携帯が On-Lap1306H モニターに安定した 5V 1.5A の電流を供給することができない可能性があります。電流が足りない場合、画面がちらついたり起動できません。第 2 章のその 3 を参照し、USB Type-C ビデオ・電源ケーブル(0.5 m) (別売)を使用して携帯をモバイルバッテリーに接続してください。
4. 携帯の USB Type-C ポートを通じて、画面を On-Lap 1306H モニターに伝送すると、モバイルゲームまたは APP 反応の速度が遅くなります。	これは、携帯のプロセッサまたはメモリの効能が不十分なために発生する可能性がある状態です。携帯製造メーカーに問い合わせてください。
5. HTC®スマートフォン (U11、U12 など)をモニターに接続すると、音量が大きくなります。	HTC®の携帯をモニターに接続すると、携帯メディアの音量が自動に最大まで調整されるので、モニターの音量を最小に設定してください。それでも音量が大きすぎる場合は聴覚障害を防ぐため、ヘッドフォンを使用しないでください。
6. 1306H をコンピュータの USB Type-C ポートに接続し使用すると、最初は正常に表示されますが、しばらくするとモニター画面が消えて元に戻り、不安定になります。	コンピュータのバッテリー残量が少なくなると、モニターに出力される電流が減少します。電源が不足しているため、モニターが安定して表示されない場合があります。コンピュータを電源で充電してください。



GeChic Corporation

11F-3, No. 138, Zhongming S. Rd.,
West Dist., Taichung, Taiwan

Customer Service : service@gechic.com

Rev. 2020/5/12



保証規定

当製品ご購入から 1 年間(12ヶ月)に限り、通常の使用状態において、万が一故障した場合、該当製品を無償にて修理致します。なお、修理が困難な場合、同等品との交換となる場合があります。

保証期間内であっても以下のような場合は有償修理となります。

- ・お客様の不適切な取扱が原因で故障、破損が生じた場合。
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天地異変などによる故障及び破損の場合。
- ・弊社の修理部門以外で修理や改造などを行った製品。
- ・部品や付属品などの破損及び遺失等。

マニュアルをよく閲覧された上、製品をご使用ください。

より詳細な保証内容、条件、使用方法等につきましては、弊社のマニュアル及びホームページにてご確認ください。

【製品情報】



モデル: On-Lap1306H

シリアル No :

購入日付:

販売店 :

1年
保証

(販売店のスタンプ)